

第 9 8 回

火山噴火予知連絡会資料

2004年6月30日  
東北大学大学院理学研究科

## 岩手山

浅部高周波地震の活動は比較的低調に推移した. 一方, 東山腹下のやや深部低周波地震・微動の活動は, 2004年2月まで比較的高いレベルにあったが, 3月以降はやや低下した状態にある.

歪・傾斜変動は, 2001年ころに始まった収縮傾向の変動が継続している.

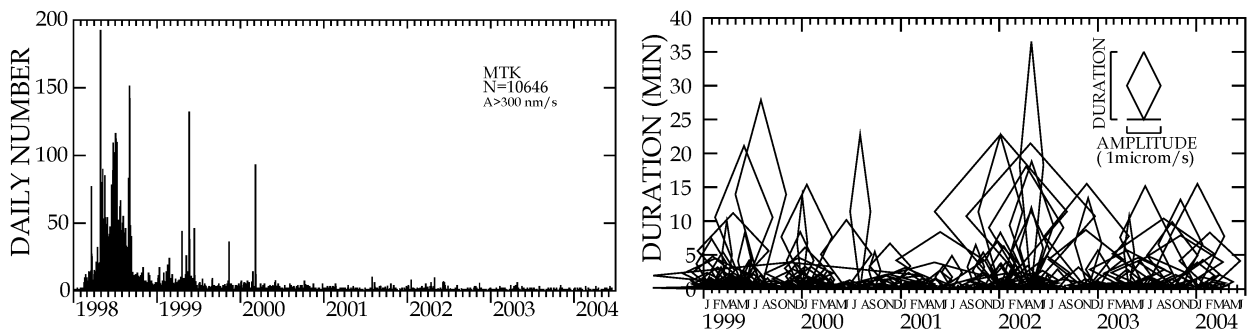


図1 (a) 岩手火山地域で発生した地震の日別頻度(1998年1月1日~2004年6月15日).  
(b) 火山性微動の継続時間と振幅の変化(1999年1月1日~2004年6月15日).

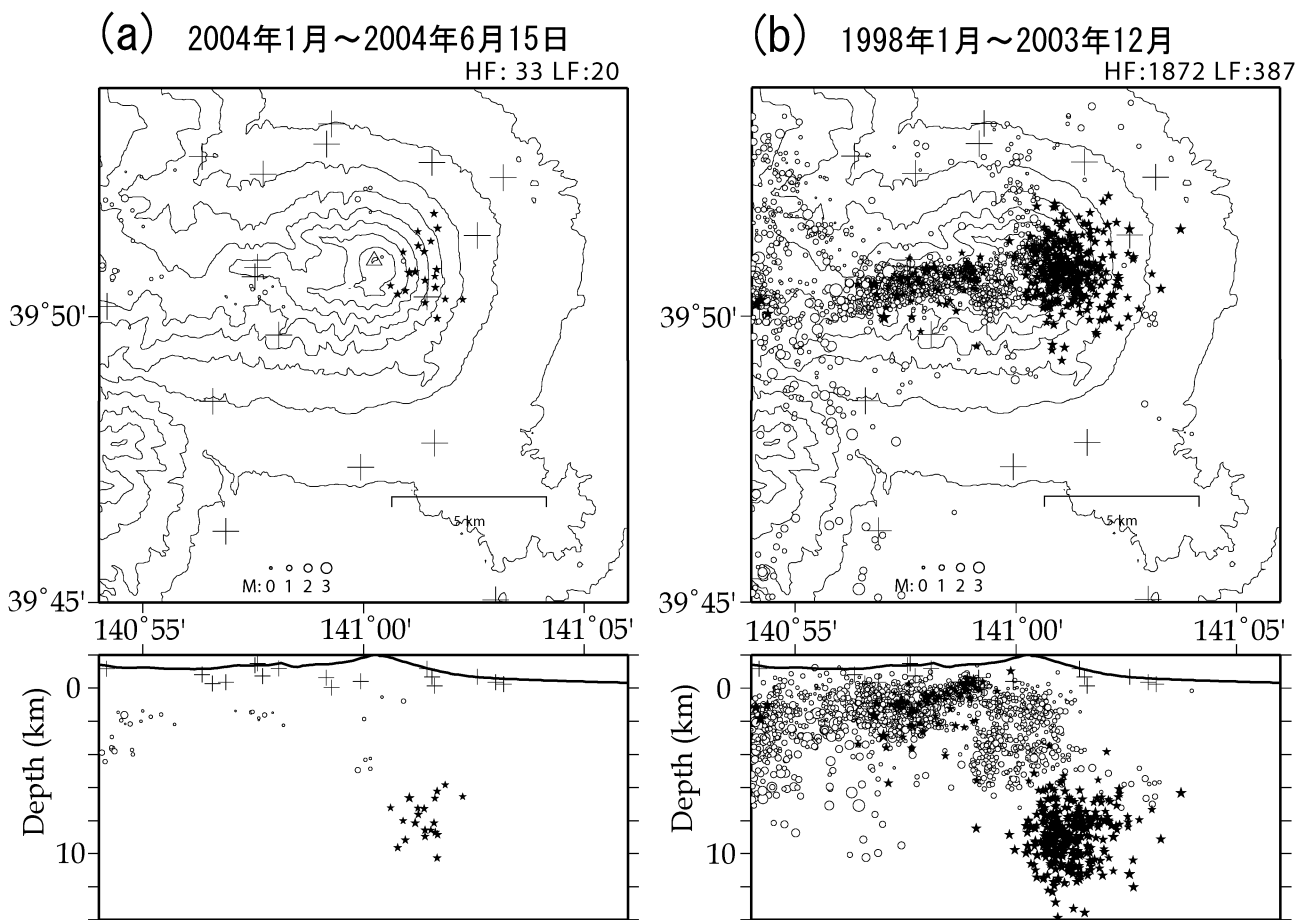


図2 (a) 2004年1月~2004年6月15日, (b) 1998年1月~2003年12月の岩手山近傍における震源分布. 丸印が高周波地震, 星印が低周波地震.

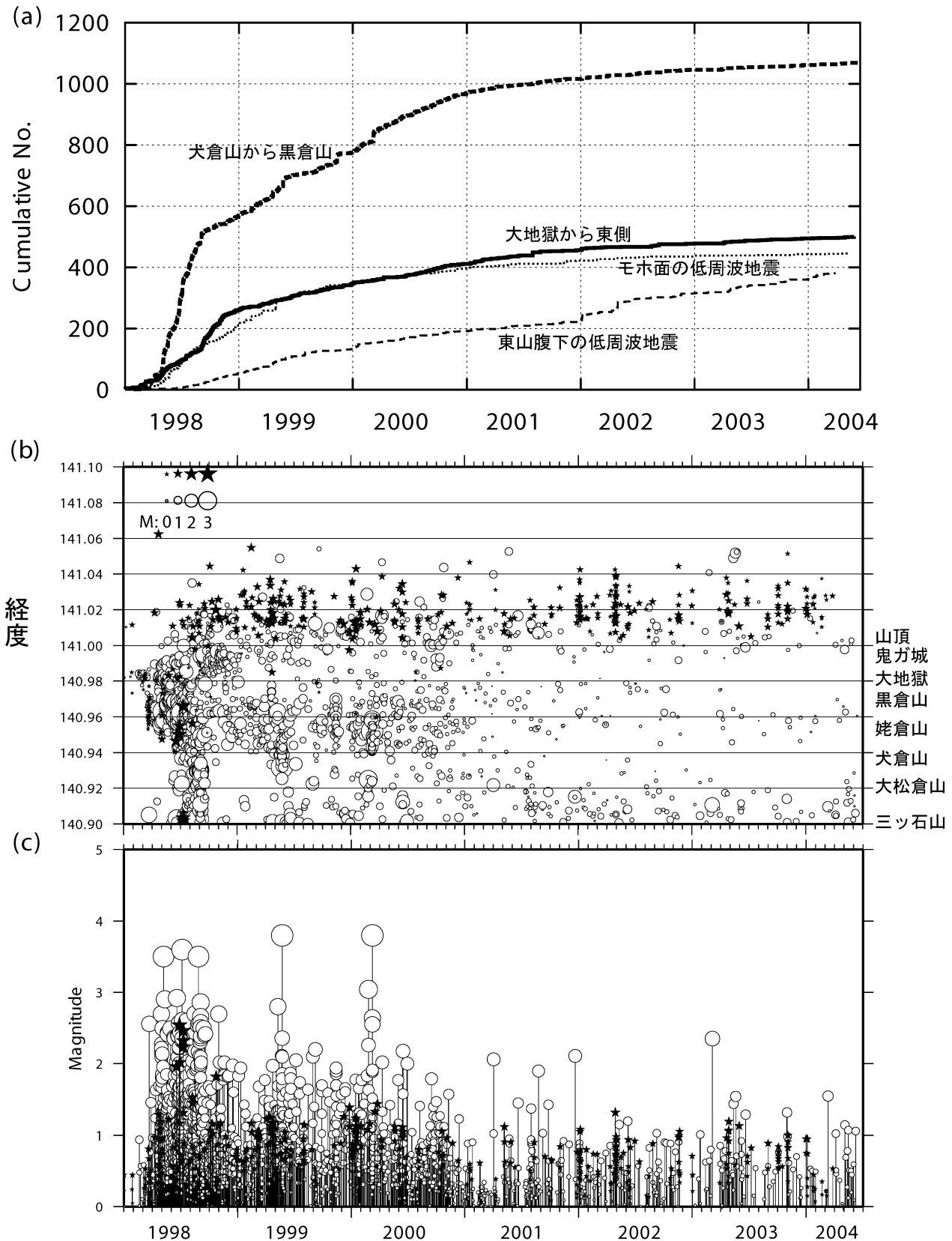


図3 1998年1月～2004年6月15日における、(a)地震の積算度数の時間変化 (太い破線:犬倉山から黒倉山, 実線:大地獄から東側, 細い点線:モホ面の低周波地震, 破線:東山腹下の低周波地震), (b)震央を東西に投影した時空間分布図, (c) M-T図. 丸印が高周波地震, 星印が低周波地震.

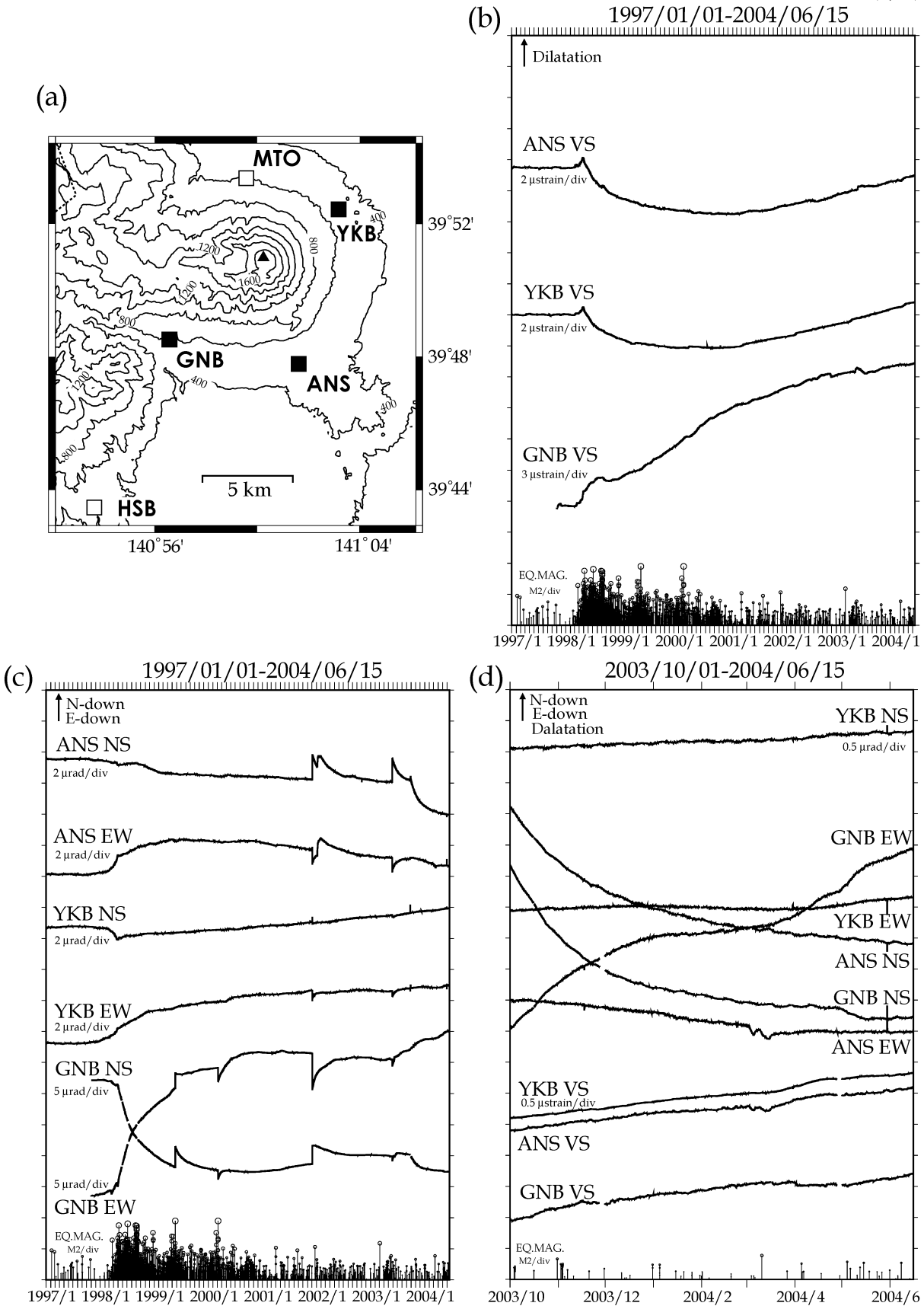


図4 岩手山周辺における歪・傾斜変動記録。(a)観測点配置, (b)1997年1月~2004年6月15日における歪変動, (c)傾斜変動, (d)2003年10月1日~2004年6月15日の歪・傾斜変動. VS:体積歪, NS:傾斜南北成分, EW:傾斜東西成分.(b),(c)は潮汐・気圧・トレンド補正済,(d)は潮汐・気圧のみ補正済. トビをとまう変動は有感地震の影響.